

氏名	高島 恭子	部署	社会福祉子ども学科	職名	准教授
研究分野	障害者福祉 精神保健福祉				
学位	修士（社会福祉学）				
学歴	1986年国際基督教大学教養学部教育学科、2003年日本社会事業大学大学院社会福祉学研究科博士前期課程、2011年日本社会事業大学大学院社会福祉学研究科博士後期課程満期退学				
経歴	2006年長崎国際大学人間社会学部社会福祉学科講師、2010年長崎国際大学人間社会学部社会福祉学科准教授、2017年長崎国際大学人間社会学部社会福祉学科教授、2017年長崎国際大学大学院人間社会学研究科教授、2020年埼玉県立大学保健医療福祉学部社会福祉子ども学科准教授				
所属学会（役職）	日本社会福祉学会、日本グループホーム学会、日本発達障害学会、日本ソーシャルワーク学会、埼玉県立大学保健医療福祉科学学会				

【2024年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作(著書及びその他の著作物)						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	該当なし					
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻（号）、開始-終了ページ	著者、編者名
1	該当なし					
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市		発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	該当なし					
(4) その他						
	名称	単・共	発表場所等		発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	2025年世界ソーシャルワークデーのテーマ	単著	日本ソーシャルワーカー協会会報（第152号）		○高島恭子	2025年2月
2. 競争的資金等の研究						
	競争的資金等の名称	研究名			研究代表者・研究分担者の別	研究期間
1	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究C）	知的障害のある人の意思決定支援ネットワークの構築			研究代表者	2024.4～2027.3
3. 教育業績						
(1) 講義						
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）		
1	精神保健福祉の原理Ⅰ	○	15	視聴覚教材や事例、ディスカッションを活用し、学生が精神保健福祉の歴史、理念について学び、人権について考えを深められるよう講義を行った。		
2	ソーシャルワークの理論と方法（専門）Ⅳ	○	15	精神障害者への支援の基本的考え方、精神科リハビリテーションの考え方、知識、技術、支援の地域社会の構築について、講義を行った。		
3	福祉社会特講Ⅳ（国際社会福祉論）		2	第7回（社会福祉制度の国際的動向② 障害者権利条約）、第11回（JICA連携講座 日本における多文化共生を考える）を担当した。		
4	グローバルヘルスと看護		1	第12回にて日本にいる外国人と「在留資格」、社会保障制度、医療・障害等に関連する福祉制度と制度へのアクセスの課題について講義した。		
5	スタートアップセミナー		15	主科目担当者として、講義全体を運営管理した。第4回の準備を担当した。授業においては、学生が意欲的に課題に取り組み、気づきを得られるよう、講義準備・講義、プロジェクト型学習を進めた。		

(2) 演習				
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	社会福祉専門演習Ⅰ		15	文献の検索、精読、議論を通し、思考し文章化するための演習を行った。障害者権利条約や日本への総括所見への学びを深めた。
2	社会福祉専門演習Ⅱ		15	文献の精読、議論を通し、思考し課題を整理するための演習を行った。
3	社会福祉専門演習Ⅲ		15	議論を通して、目的に沿って論理的に課題を整理し、文献調査を進め、思考を文章化する演習を行った。
4	社会福祉専門演習Ⅳ		15	論文の作法を修得し研究の成果を論文のかたちにまとめ、4年間の学びの総括に取り組んだ。
5	精神保健福祉援助演習Ⅱ	○	15	精神保健福祉援助の事例を活用し、支援に関わる考え方や支援過程における行為を想定し、精神保健福祉士の専門性の基礎の獲得に努めた。
6	精神保健福祉援助実習指導Ⅰ	○	15	視聴覚教材に基づく演習やコミュニケーションを体験する演習、見学その他の体験的学習を行い、精神保健福祉領域やその利用者、支援者、実習の意義への理解を深めた。
7	精神保健福祉援助実習指導Ⅱ	○	15	実習目的の明確化、実習課題の作成、医療機関／サービス事業所や関連制度等の理解のための事前学習シート作成に向けた指導を行った。
8	精神保健福祉援助実習指導Ⅲ	○	15	現場実習での巡回指導、実習の学びの振り返り及び実習のまとめの確認などの事後指導を行った。
(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	精神保健福祉援助実習Ⅰ	○	2024.6～2024.9	4年次生を対象に、精神科医療機関での12日間の実習指導を行った結果、期待した学習効果を上げることができた。
2	精神保健福祉援助実習Ⅱ	○	2024.6～2024.9	4年次生を対象に、主に精神障害者を支援するサービス事業所等で12日間の実習指導を行った結果、期待した学習効果を上げることができた。
(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文	2024.4～2024.12	主指導	5名 副指導 3名
(5) その他				
	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	佐久大学 非常勤講師	2024.4～2025.2	4年次生を対象に「障害学Ⅰ」（15コマ）を非常勤講師として担当した。国内外の文献購読により「障害」への思考を深めた。	
2	佐久大学 非常勤講師	2024.4～2025.2	1年次生を対象に「障害の福祉学Ⅰ」（15コマ）を非常勤講師として担当した。毎回の小テストによって基本知識の習得を促すほか、映像等を用いて実感をもって考えられるよう工夫した。	
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	令和6年度しらこぼとセミナー（事業者職員向け）	越谷市障害者就労訓練施設しらこぼと	障がい者虐待防止、身体拘束適正化のための研修（～中堅職員編～）	2024.11
2	要保護児童対策調整機関の調整担当者研修等	埼玉県福祉部こども安全課	「障害相談・支援の基本」を担当した。	2025.1

(2) 国、自治体、学術団体等における委員等			
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称	任期
1	厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部障害福祉課「障害者虐待事案の未然防止のための調査研究一式」に係る技術評価委員会	委員	2024.6.3~2024.6.13
2	厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部障害福祉課「令和7年度障害者虐待防止・権利擁護指導者養成研修業務」に係る技術評価委員会	委員	2025.3.11~2025.3.25
3	埼玉県福祉部 福祉サービス第三者評価認証等委員会	委員長	2024.7~2026.7
4	埼玉県総合リハビリテーションセンター 運営協議会	委員	2024.4~2026.3
5	北本市 地域福祉推進委員会	委員長	2024.7~2026.6
6	越谷市 社会福祉審議会地域福祉専門部会	委員長	2021.5~2027.5
7	社会福祉法人越谷市社会福祉協議会	越谷市地域福祉活動計画推進委員長	2024.8~2027.7
8	公益財団法人社会福祉振興・試験センター	精神保健福祉士試験委員	2024.5~2026.4
9	認定社会福祉士認証・認定機構	研修審査員	2022.4~2026.3
10	特定非営利活動法人日本ソーシャルワーカー協会	理事・国際委員会委員	2023.7~2025.6
(3) ジャーナリズムでの発言			
	メディア等の名称	内容	年月
1	該当なし		
(4) その他			
	項目	相手方等	内容 期間
1	該当なし		
5. 学内運営			
	項目	内容	期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	国際交流委員会 JICA連携講座担当	2024.4~2025.3
2	全学的委員会及びセンター業務等	倫理委員会（人を対象とする研究審査部門）	2024.9~2025.3
3	全学的委員会及びセンター業務等	URAプレアワード説明会にて「URA利用者の声」担当	2024.4
4	学科等における委員会等	公立大学協会社会福祉学系部会 担当	2024.4~2025.3
5	学科等における委員会等	精神保健福祉士関連科目履修者選考委員会委員長	2024.4~2025.3
6	学科等における委員会等	精神保健福祉士大学等変更届 担当	2024.4~2025.3
7	学科等における委員会等	カリキュラム検討WG	2024.4~2025.3
8	大学広報活動	オープンキャンパスの模擬講義担当	2024.8
9	学生支援	3年生（3名）4年生（5名）学生担任担当	2024.4~2025.3
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）			
	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		
7. 特許の取得			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			
1	該当なし		